



半田市乙川北側町2-54
Tel. (0569) - 21-3646

知多で5番目 きょう発会式

昨年5月に誕生した「りんりん」は、着々とその態勢を整えて、協力・利用・賛助の各会員の総数約130名で、いよいよ平成7年1月29日に、在宅介護・家事援助の会として、正式に発足することになりました。

発会式次第

1. 開会の言葉
2. 「りんりん」経過報告
3. 体験発表
4. 祝辞
・市長・市議会議長・医師会会長・社協会長・県議員・「ふれ愛」会長
5. 利用代表
6. 健康体操
7. 閉会の言葉

役員一覧

代表	村上	真喜子
事務局長	米沢	治子
会計	石川	雅子
広報	木村	静子
書記	邑上	恵美子
会計監査	寺本	憲悟
	北島	良人

介護は社会で

代表 村上真喜子

「あなたの老いをだれがみる」とは、大熊一夫氏の本の題名ですが、この問いに即答できる人はいるでしょうか。

人生五十年が八十年といわれるようになったのは、戦後わずか五十年のことです。この間に、大家族から核家族に変わり、女性が社会で働き出しました。二千年には世界一の高齢国になると予測される今、私たちの老いを誰が支えてくれるでしょう。

老人介護は家族がするものという考えではもはや高齢社会を安心して迎えることができません。体が不自由になっても、住みなれた家や地域で暮らし続けるためには、今、何が必要で、何が不足しているのでしょうか。

不安や不満を述べるだけでなく、「住みたい街」に住むために、一人ひとりが自分に来ることを考え、提案し、共同することが必要です。小さな輪をつないで、大きな輪になるようにとの願いをこめた「りんりん」の活動をご理解いただき、一人でも多くの方々のご協力が得られますことを願っています。

「りんりん」活動状況

「りんりん」誕生は、昨年5月18日といえるかと思います。住民互助型在宅福祉サービスの先駆的活動をしている、東海市「ふれ愛」の事務所を、半田市民7人が勉強の目的で訪問したのがキッカケでした。

援助を求めている半田市のIさんのことを知り、翌日から即実践でした。

「りんりん」の設立総会を、12月18日に迎えるまで、たくさんの方が同時進行でした。組織づくり、介護の勉強、運営資金を得るための活動、事務所の開設、そして本来の援助活動と、息つく暇もない有り様でした。その間に協力会員・利用会員が驚くように増加しましたが、下の表がそれを示しています。

発会に寄せて

半田市社会福祉協議会

会長 榊原 庄吉

半田市在宅介護・家事援助の会「りんりん」の発会を、心からお祝いたします。長寿社会は少子化の現象の関連で、身障者を含め、社会全体の環境が大きく変わり、福祉も市町で身近に直接対応でき、充実されました。今度立派な「りんりん」の発会と合わせ、反面なことは、高齢者の方々に福祉という理念を広く住民意識へのPRも大切であり、を進めるには民生委員の方々と地域のアンテナ役、パイプ役として活動していく連携が特に必要で、「りんりん」の存在が幅広い活動の中で、協調することが望まれます。

今後も「りんりん」の音も高く、ご発展、ご活躍をお祈りします。

協力・利用・賛助会員数

現在数	協力会員	利用会員	賛助会員
5月	8人	2人	
6月	10人	3人	
7月	18人	3人	
8月	20人	4人	
9月	19人	8人	
10月	23人	11人	14人
11月	36人	12人	51人
12月	35人	16人	79人

活動状況(時間・回数)

	利用時間	派遣回数
5月	40	14
6月	103	38
7月	157	40
8月	176	46
9月	202	64
10月	185	58
11月	303	78
12月	333	76
合計	1499	414

出 会 い 触 れ 合 い
助 け 合 い